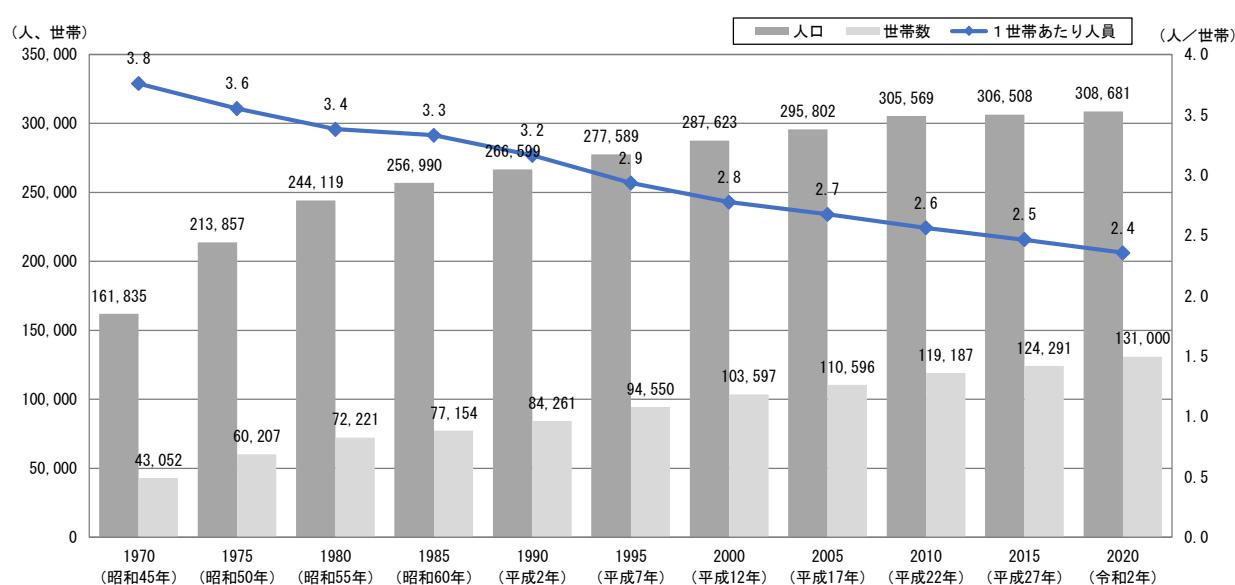


(2) 人口

(1) 人口・世帯数

- ◆人口、世帯数ともに増加しています。
- ◆2020年（令和2年）時点で、人口は308,681人、1970年（昭和45年）から91%の増加、世帯数は131,000世帯、204%の増加となっています。
- ◆人口増加の割合に対して世帯数増加の割合が高いことから、1世帯あたりの人員は減少しており、2020年（令和2年）時点で2.4人／世帯となっています。

【図 人口・世帯数の推移】



	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
人口 (人)	161,835	213,857	244,119	256,990	266,599	277,589	287,623	295,802	305,569	306,508	308,681
人口増加率(%)	—	32%	51%	59%	65%	72%	78%	83%	89%	89%	91%
世帯数	43,052	60,207	72,221	77,154	84,261	94,550	103,597	110,596	119,187	124,291	131,000
世帯数増加率(%)	—	40%	68%	79%	96%	120%	141%	157%	177%	189%	204%
1世帯あたり人員	3.8	3.6	3.4	3.3	3.2	2.9	2.8	2.7	2.6	2.5	2.4

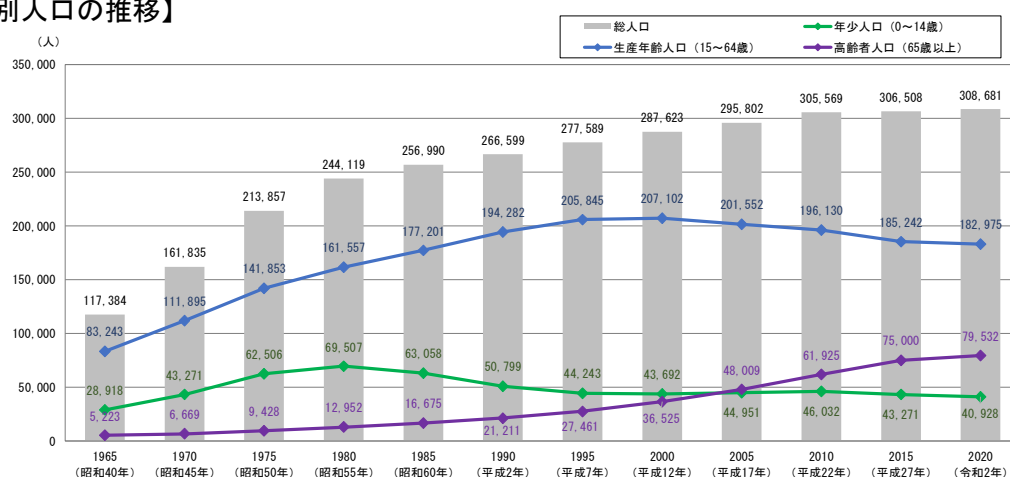
※ 増加率は、1970年に対する値です。

資料：2020年（令和2年）国勢調査

(2) 年齢別人口

- ◆年少人口（0～14歳）は、1980年（昭和55年）の69,507人のピーク後、減少傾向であり、2020年（令和2年）時点で40,928人となっています。構成比は、1975年（昭和50年）の29.2%をピークとして減少しており、2020年（令和2年）時点で13.3%となっています。
- ◆生産年齢人口（15～64歳）は、2000年（平成12年）の207,102人をピークに減少に転じており、2020年（令和2年）時点で182,975人となっています。構成比は、1995年（平成7年）の74.2%をピークとして減少に転じており、2020年（令和2年）時点で59.3%となっています。
- ◆高齢者人口（65歳以上）は、一貫して増加傾向にあり、2020年（令和2年）時点で79,532人となっています。構成比は、1995年（平成7年）までは比較的緩やかな増加傾向でしたが、2000年（平成12年）に10%を超えて以降、大きく増加しており2020年（令和2年）時点で25.8%となっています。

【図 年齢別人口の推移】



人口と高齢者人口の推移

	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
総人口(人)	117,384	161,835	213,857	244,119	256,990	266,599	277,589	287,623	295,802	305,569	306,508	308,681
年少人口(人)	28,918	43,271	62,506	69,507	63,058	50,799	44,243	43,692	44,951	46,032	43,271	40,928
構成比(%)	24.6	26.7	29.2	28.5	24.5	19.1	15.9	15.2	15.2	15.1	14.1	13.3
生産年齢人口(人)	83,243	111,895	141,853	161,557	177,201	194,282	205,845	207,102	201,552	196,130	185,242	182,975
構成比(%)	70.9	69.1	66.3	66.2	69.0	72.9	74.2	72.0	68.1	64.2	60.4	59.3
高齢者人口(人)	5,223	6,669	9,428	12,952	16,675	21,211	27,461	36,525	48,009	61,925	75,000	79,532
構成比(%)	4.4	4.1	4.4	5.3	6.5	8.0	9.9	12.7	16.2	20.3	24.5	25.8

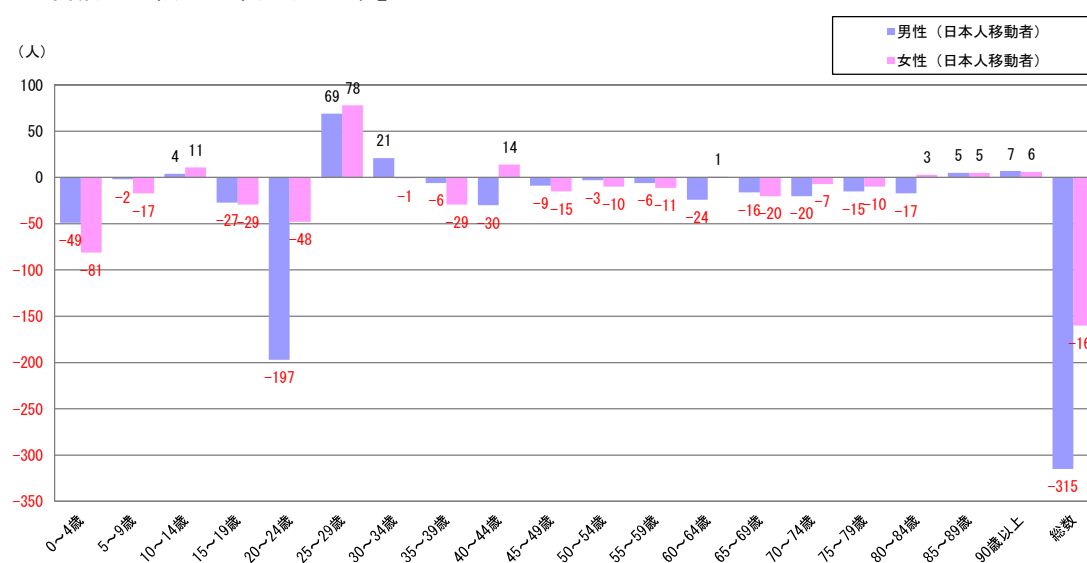
※ 総人口は年齢不詳を含むため、各年代の人口の合計と一致しません。

資料：2020年（令和2年）国勢調査

(3) 年齢別転入・転出

- ◆20～24歳は転出超過となっていますが、男性の25～34歳、女性の25～29歳は転入超過となっています。これは進学や就職に伴って転出した後、結婚等を機に転入している状況が考えられます。一方、10歳未満や男性の35～44歳、女性の30歳～39歳で転出超過となっていることから、子育て世代が新たな住宅の購入を機に転出している等が要因とも考えられます。
- ◆転入が転出を上回る年代の転入元をみると、男女ともに隣接する名古屋市守山区や小牧市をはじめ、愛知県下の市町が多くなっています。
- ◆転出が転入を上回る年代の転出先をみると、転入前の居住地と同様に、男女ともに隣接する名古屋市守山区や小牧市をはじめ、愛知県下の市町が多くなっています。

【図 年齢別の転入・転出超過数】



男性 (日本人移動者)

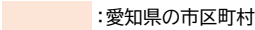
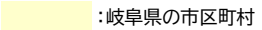
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
転入	315	114	49	292	1,024	1,116	713	464	283	244	230	141	84	57	43	20	25	24	18	5,256
転出	364	116	45	319	1,221	1,047	692	470	313	253	233	147	108	73	63	35	42	19	11	5,571
転入超過	-49	-2	4	-27	-197	69	21	-6	-30	-9	-3	-6	-24	-16	-20	-15	-17	5	7	-315

女性 (日本人移動者)

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
転入	258	104	68	179	823	1,025	580	297	190	143	145	92	64	31	43	43	60	61	38	4,244
転出	339	121	57	208	871	947	581	326	176	158	155	103	63	51	50	53	57	56	32	4,404
転入超過	-81	-17	11	-29	-48	78	-1	-29	14	-15	-10	-11	1	-20	-7	-10	3	5	6	-160

資料：総務省 住民基本台帳人口移動報告 2022年（令和4年）結果

【表 転入前の居住地】

 : 愛知県の市区町村
  : 岐阜県の市区町村

単位:人

0～9歳				10～19歳				20～29歳			
男性		女性		男性		女性		男性		女性	
総数	450	総数	380	総数	378	総数	283	総数	2,654	総数	2,249
名古屋市守山区	40	名古屋市守山区	33	名古屋市守山区	28	小牧市	15	小牧市	120	小牧市	106
名古屋市北区	21	名古屋市北区	25	小牧市	15	大津市	11	名古屋市守山区	105	名古屋市守山区	98
名古屋市西区	18	小牧市	18	豊川市	14	岐阜市	9	名古屋市北区	68	名古屋市北区	76
小牧市	18	名古屋市西区	14	浜松市	11	名古屋市守山区	8	名古屋市中川区	67	一宮市	63
瀬戸市	12	長久手市	9	津市	10	瀬戸市	8	豊田市	63	瀬戸市	52
多治見市	10	名古屋市中区	8	瀬戸市	9	一宮市	8	一宮市	58	岐阜市	46
名古屋市名東区	10	瀬戸市	7	豊橋市	9	名古屋市北区	7	名古屋市中村区	47	豊田市	45
名古屋市中村区	9	豊田市	7	尾張旭市	7	名古屋市西区	7	津市	43	名古屋市中区	44
一宮市	9	豊橋市	7	名古屋市中区	6	名古屋市緑区	7	名古屋市長区	41	名古屋市中川区	43
豊田市	9	多治見市	6	岡崎市	6	名古屋市長区	6	岐阜市	37	多治見市	42
東京都江戸川区	8	名東区	6	名古屋市中川区	6	名古屋市名東区	5	名古屋市名東区	37	名古屋市西区	39
名古屋市天白区	8	一宮市	6			可児市	5	名古屋市熱田区	37	名古屋市名東区	38
岡崎市	8	岡崎市	6			豊田市	5	尾張旭市	37	名古屋市中村区	36
安城市	8	名古屋市中川区	6			西尾市	5	瀬戸市	35	名古屋市緑区	31
						名古屋市中村区	5	名古屋市東区	35	岡崎市	30

30～39歳				40～49歳				50～59歳			
男性		女性		男性		女性		男性		女性	
総数	1370	総数	998	総数	564	総数	363	総数	386	総数	252
小牧市	79	名古屋市守山区	64	名古屋市守山区	36	名古屋市守山区	25	小牧市	28	小牧市	20
名古屋市守山区	71	名古屋市北区	48	名古屋市北区	26	名古屋市北区	16	名古屋市守山区	22	名古屋市守山区	15
名古屋市北区	61	小牧市	47	小牧市	25	小牧市	16	名古屋市北区	15	名古屋市北区	14
一宮市	47	名古屋市西区	42	豊田市	13	尾張旭市	12	瀬戸市	11	瀬戸市	11
多治見市	36	多治見市	30	名古屋市中区	12	一宮市	11	岡崎市	10	名古屋市中川区	8
名古屋市西区	36	名古屋市中区	23	名古屋市千種区	12	名古屋市千種区	9	稲沢市	9	北名古屋市	8
瀬戸市	33	瀬戸市	21	一宮市	12	名古屋市西区	9	一宮市	7	名古屋市緑区	7
名古屋市東区	26	名古屋市中川区	19	名古屋市西区	11	瀬戸市	9	岐阜市	7	名古屋市東区	6
名古屋市中川区	23	名古屋市天白区	19	岡崎市	10	可児市	9	浜松市	7	名古屋市中区	6
岐阜市	22	名古屋市中村区	19	名古屋市中川区	9	豊田市	8	名古屋市千種区	6	名古屋市名東区	5
豊田市	19	名古屋市東区	18	瀬戸市	8	名古屋市東区	8	名古屋市西区	6	豊田市	5
名古屋市天白区	19	名古屋市千種区	18	名古屋市中村区	8	多治見市	8	名古屋市名東区	6		
名古屋市名東区	18	岡崎市	16	名古屋市瑞穂区	8	名古屋市名東区	6	名古屋市中川区	6		
豊橋市	18	豊田市	15			名古屋市中川区	5				
東海市	18	名古屋市名東区	15			豊山町	5				

60歳以上			
男性		女性	
総数	280	総数	354
小牧市	15	名古屋市守山区	19
名古屋市守山区	15	小牧市	16
名古屋市北区	9	名古屋市北区	16
名古屋市名東区	9	多治見市	14
北名古屋市	8	名古屋市千種区	12
多治見市	8	瀬戸市	9
瀬戸市	7	名古屋市中村区	9
名古屋市中区	6	横浜市	8
名古屋市西区	6	名古屋市名東区	7
名古屋市千種区	6	可児市	7
名古屋市中村区	5	瑞浪市	7
岩倉市	5	名古屋市瑞穂区	7
横浜市	5	名古屋市中区	6
		名古屋市緑区	6
		名古屋市中川区	6

※ 転入者数が概ね上位10位までの市区町村を掲載しています。掲載している市区町村より下位では、転入者数が同数の市区町村が相当数あるため掲載していません。

資料：総務省 住民基本台帳人口移動報告 2022年（令和4年）結果

【表 転出後の居住地】

：愛知県の市区町村 ：岐阜県の市区町村

単位：人

0～9歳				10～19歳				20～29歳			
男性		女性		男性		女性		男性		女性	
総数	490	総数	483	総数	385	総数	280	総数	2,712	総数	2,060
名古屋市守山区	45	名古屋市守山区	49	小牧市	17	小牧市	14	名古屋市守山区	127	名古屋市守山区	119
名古屋市北区	22	名古屋市北区	22	名古屋市西区	13	名古屋市守山区	11	小牧市	89	小牧市	92
小牧市	21	小牧市	18	豊田市	12	豊田市	10	名古屋市西区	71	名古屋市北区	72
一宮市	20	一宮市	18	豊橋市	12	名古屋市北区	9	一宮市	69	名古屋市中区	66
多治見市	12	多治見市	17	名古屋市守山区	11	名古屋市千種区	8	名古屋市北区	67	一宮市	53
瀬戸市	11	犬山市	12	刈谷市	10	名古屋市東区	8	豊田市	62	名古屋市千種区	40
名古屋市西区	10	瀬戸市	11	東海市	9	横浜市	7	名古屋市中川区	52	岡崎市	39
尾張旭市	10	名古屋市千種区	11	名古屋市熱田区	9	豊山町	6	岡崎市	49	名古屋市西区	38
横浜市	8	可児市	10	一宮市	8	尾張旭市	6	名古屋市千種区	44	名古屋市緑区	38
名古屋市緑区	8	豊山町	10	名古屋市千種区	8	名古屋市中川区	6	名古屋市中区	43	名古屋市中村区	36
				瀬戸市	8						
				名古屋市昭和区	8						

30～39歳				40～49歳				50～59歳			
男性		女性		男性		女性		男性		女性	
総数	1307	総数	1000	総数	613	総数	364	総数	399	総数	281
名古屋市守山区	97	名古屋市守山区	74	名古屋市守山区	44	名古屋市守山区	26	小牧市	22	小牧市	24
小牧市	76	名古屋市北区	53	小牧市	35	小牧市	21	名古屋市守山区	21	名古屋市守山区	17
名古屋市北区	54	小牧市	48	名古屋市北区	24	名古屋市北区	19	多治見市	12	名古屋市北区	14
多治見市	36	多治見市	30	名古屋市中村区	14	名古屋市千種区	13	瀬戸市	11	瀬戸市	10
一宮市	27	一宮市	26	一宮市	13	尾張旭市	10	名古屋市北区	10	一宮市	9
名古屋市中川区	27	名古屋市千種区	26	多治見市	11	瀬戸市	9	名古屋市西区	9	名古屋市東区	7
名古屋市中区	26	瀬戸市	25	名古屋市千種区	11	名古屋市東区	9	横浜市	9	名古屋市中川区	7
瀬戸市	26	名古屋市西区	21	瀬戸市	10	多治見市	8	名古屋市東区	9	北名古屋市	7
尾張旭市	22	名古屋市中川区	18	名古屋市西区	10	名古屋市中区	8	名古屋市名東区	8	多治見市	6
名古屋市緑区	20	豊山町	17	北名古屋市	9	名古屋市西区	7	一宮市	7	名古屋市西区	6
名古屋市天白区	20			横浜市	9			名古屋市中区	7		
名古屋市名東区	20			浜松市	9						

60歳以上			
男性		女性	
総数	361	総数	372
小牧市	26	名古屋市守山区	28
名古屋市守山区	26	小牧市	26
名古屋市北区	23	名古屋市北区	17
名古屋市西区	13	名古屋市西区	14
一宮市	11	名古屋市東区	12
多治見市	9	多治見市	12
瀬戸市	8	名古屋市千種区	9
名古屋市名東区	7	名古屋市名東区	9
名古屋市中区	7	豊田市	9
名古屋市千種区	7	名古屋市中区	8
岐阜市	7	名古屋市緑区	8
		豊山町	8

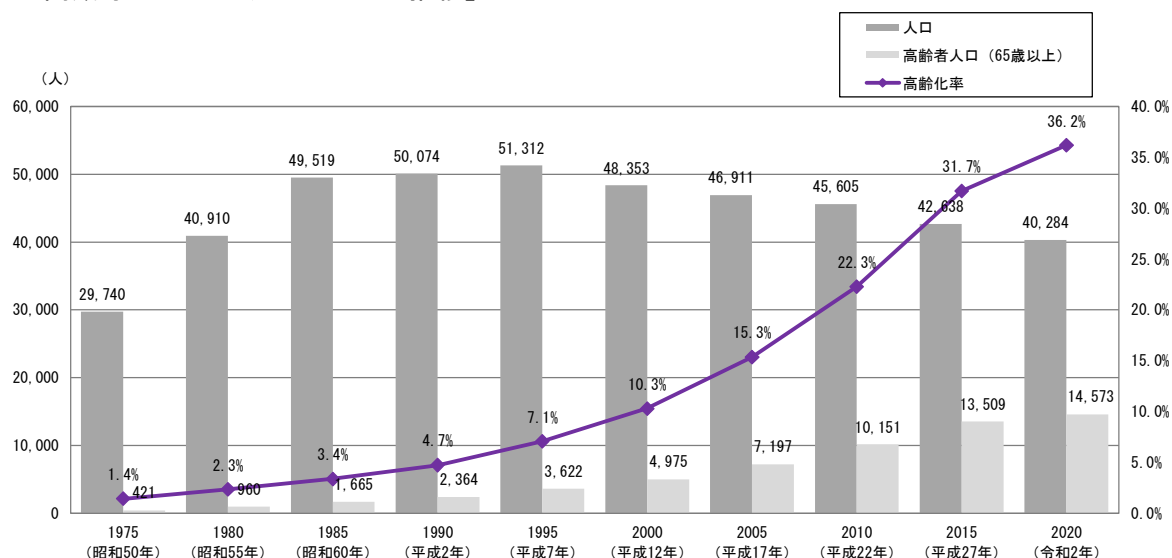
※ 転出者数が概ね上位10位までの市区町村を掲載しています。掲載している市区町村より下位では、転出者数が同数の市区町村が相当数あるため掲載していません。

資料：総務省 住民基本台帳人口移動報告 2022 年（令和 4 年）結果

(4) 高蔵寺ニュータウンの人口

- ◆高蔵寺ニュータウンの高齢者人口（65歳以上）は一貫して増加傾向にあり、2020年（令和2年）時点で14,573人となっています。構成比も大きく増加しており、2020年（令和2年）時点で36.2%と市全体の25.8%より高い高齢化率となっています。

【図 高蔵寺ニュータウンの人口の推移】



人口と高齢者人口の推移

	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
人口 (人)	29,740	40,910	49,519	50,074	51,312	48,353	46,911	45,605	42,638	40,284
増加率 (%)	—	37.6	66.5	78.4	72.5	62.6	57.7	53.3	43.4	35.5
高齢者人口 (65歳以上) (人)	421	960	1,665	2,364	3,622	4,975	7,197	10,151	13,509	14,573
構成比 (%)	1.4	2.3	3.4	4.7	7.1	10.3	15.3	22.3	31.7	36.2
増加率 (%)	—	128	296	462	760	1,082	1,610	2,311	3,109	3,362

※ 増加率は、1975年に対する値です。

※ 高蔵寺ニュータウンの対象地域は現行計画に合わせ、石尾台1～6丁目、岩成台1～10丁目、押沢台1～7丁目、高座台1～5丁目、高森台1～10丁目、中央台1～8丁目、藤山台1丁目～10丁目としています。

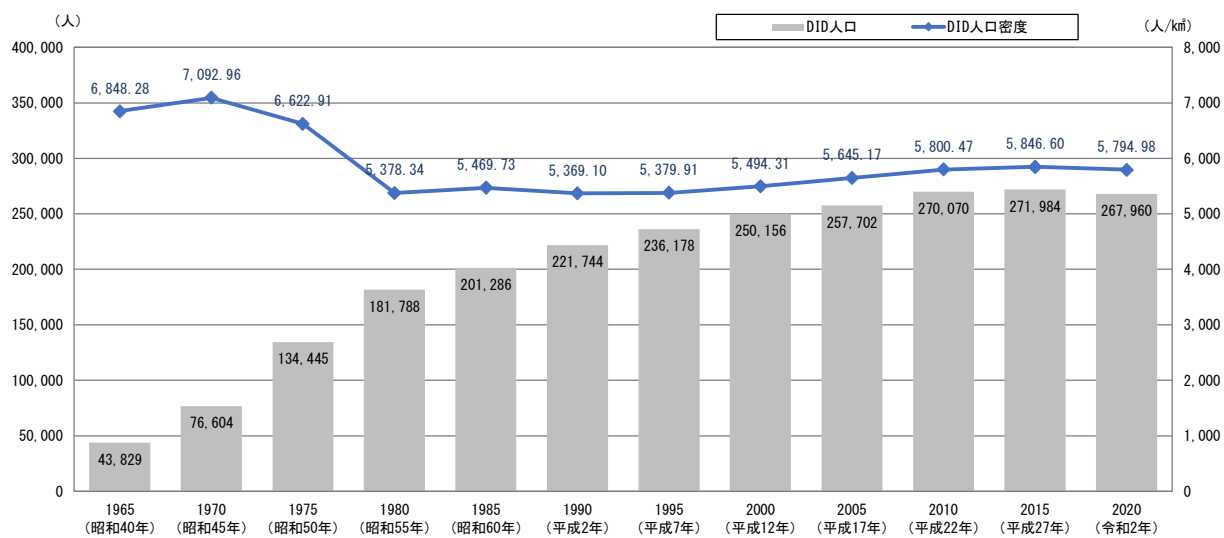
資料：2020年（令和2年）国勢調査

(5) DID人口

◆勝川駅、JR春日井駅の周辺に形成されていたDID※は、土地区画整理事業による人口増加を背景に1975年（昭和50年）から1980年（昭和55年）に大きく広がったことで人口密度が低下しています。

◆その後、DID人口・DID人口密度ともに増加傾向となっていました、2020年（令和2年）では減少しています。

【図 DID人口・人口密度の推移】



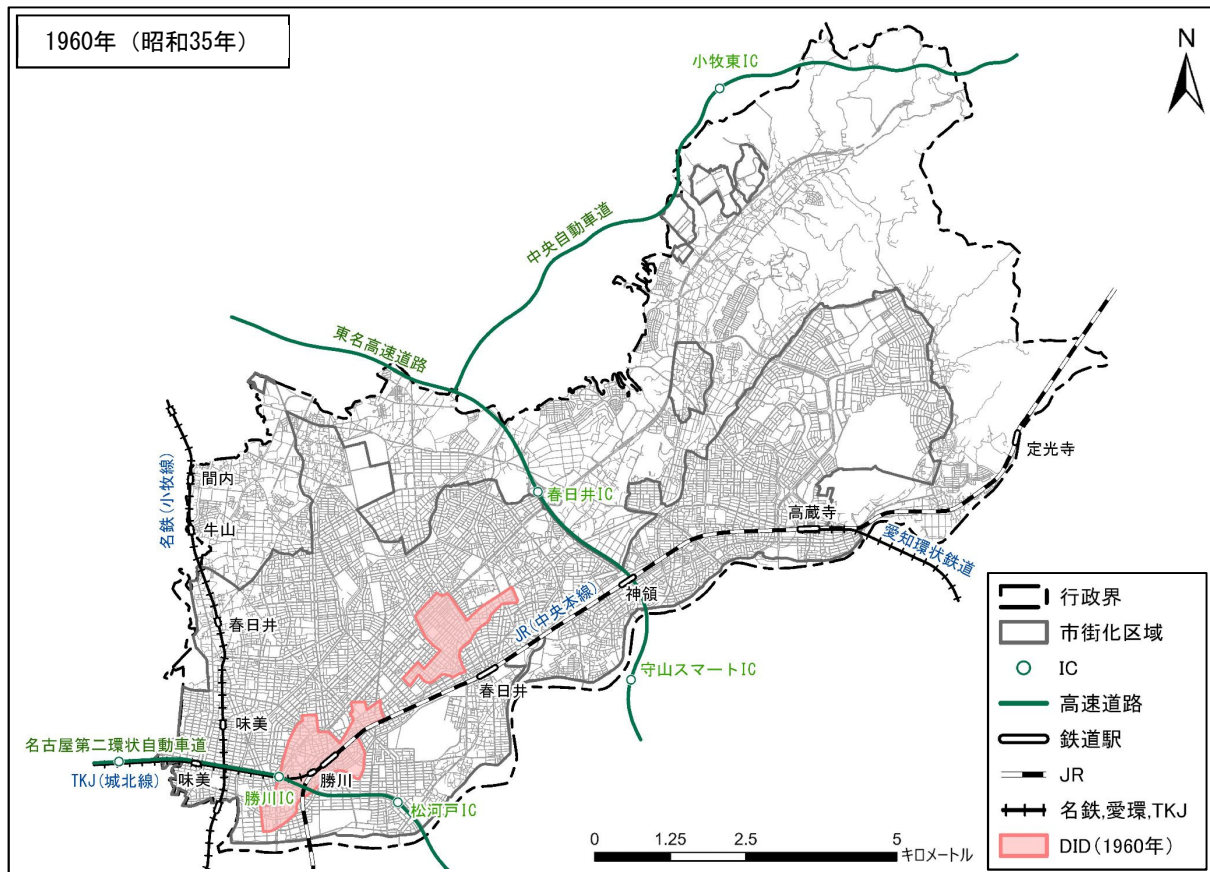
DID人口・DID人口密度の推移

	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
DID人口(人)	43,829	76,604	134,445	181,788	201,286	221,744	236,178	250,156	257,702	270,070	271,984	267,960
DID面積(㎢)	6.4	10.8	20.3	33.8	36.8	41.3	43.9	45.53	45.65	46.56	46.52	46.24
DID人口密度(人/㎢)	6,848.3	7,093.0	6,622.9	5,378.3	5,469.7	5,369.1	5,379.9	5,494.3	5,645.2	5,800.5	5,846.6	5,795.0

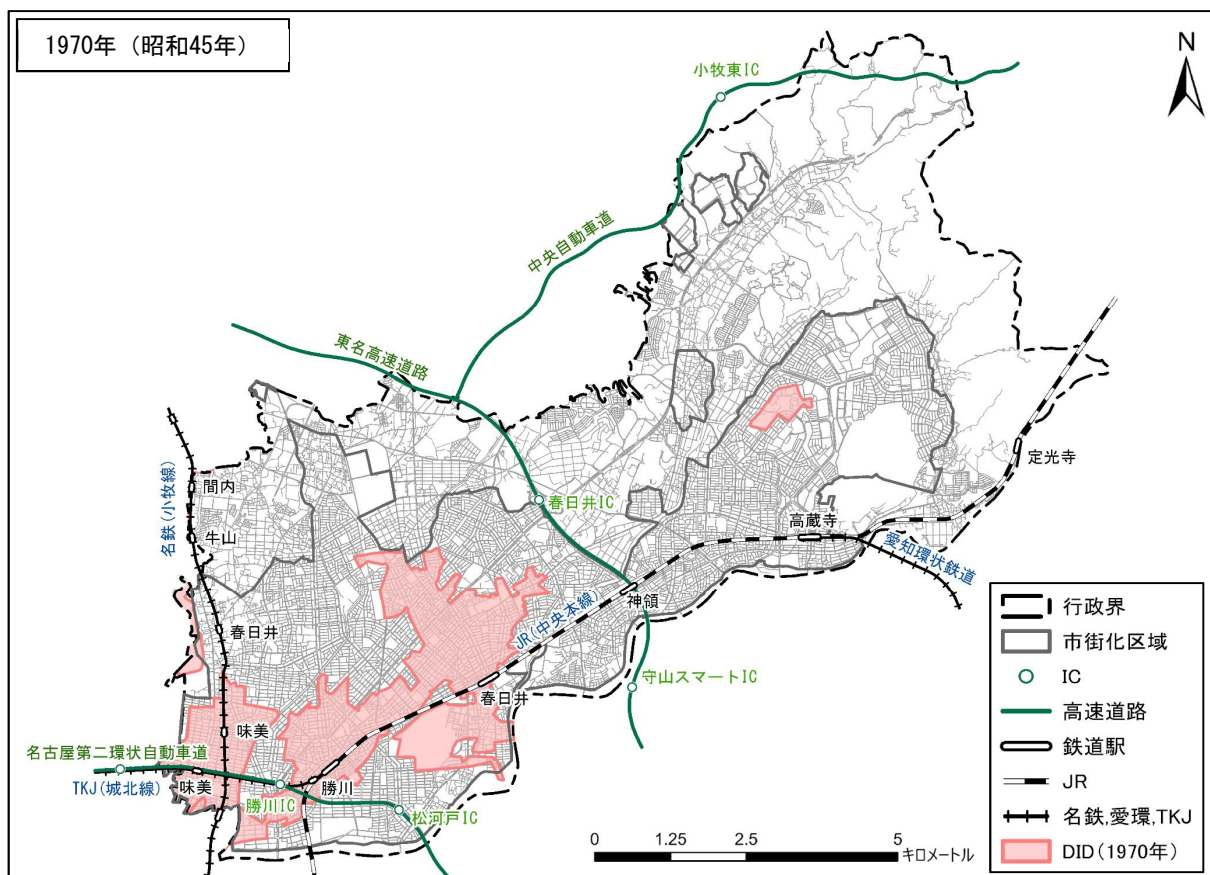
※ DID…人口集中地区のことであり、国勢調査基本単位区等を基本単位として、1.「原則として人口密度が1㎢当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境域内で互いに隣接」して、2.「それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」と定義されています。

資料：2020年（令和2年）国勢調査、国土数値情報

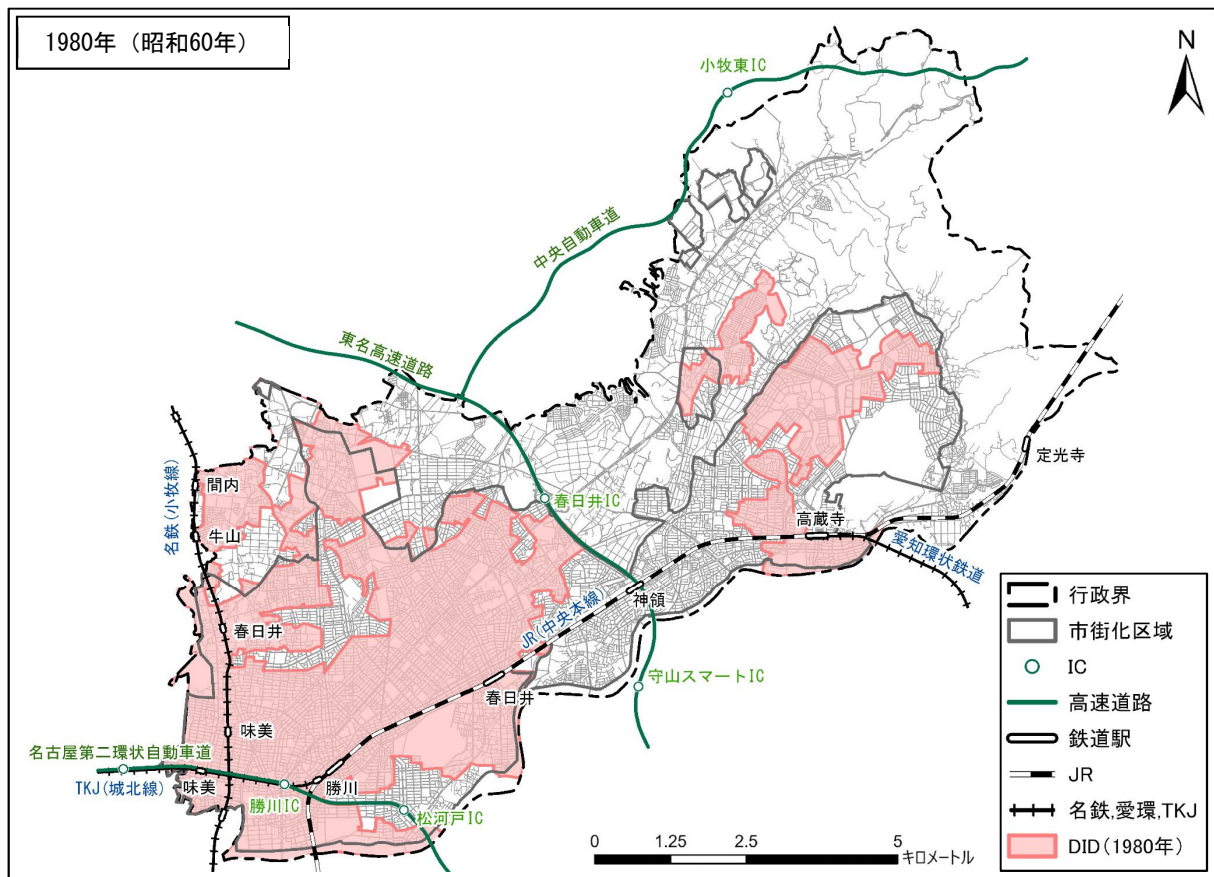
【図 DIDの推移】



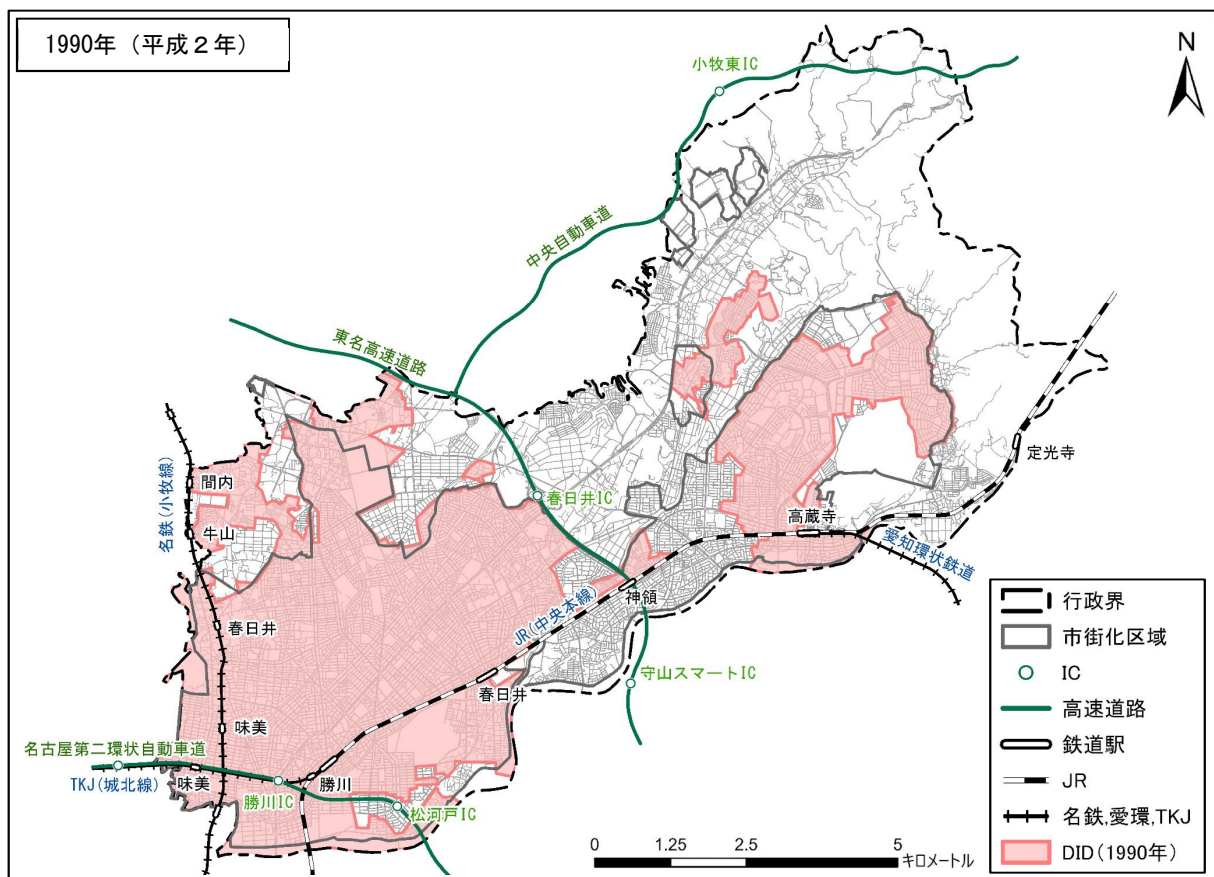
資料：国土数値情報



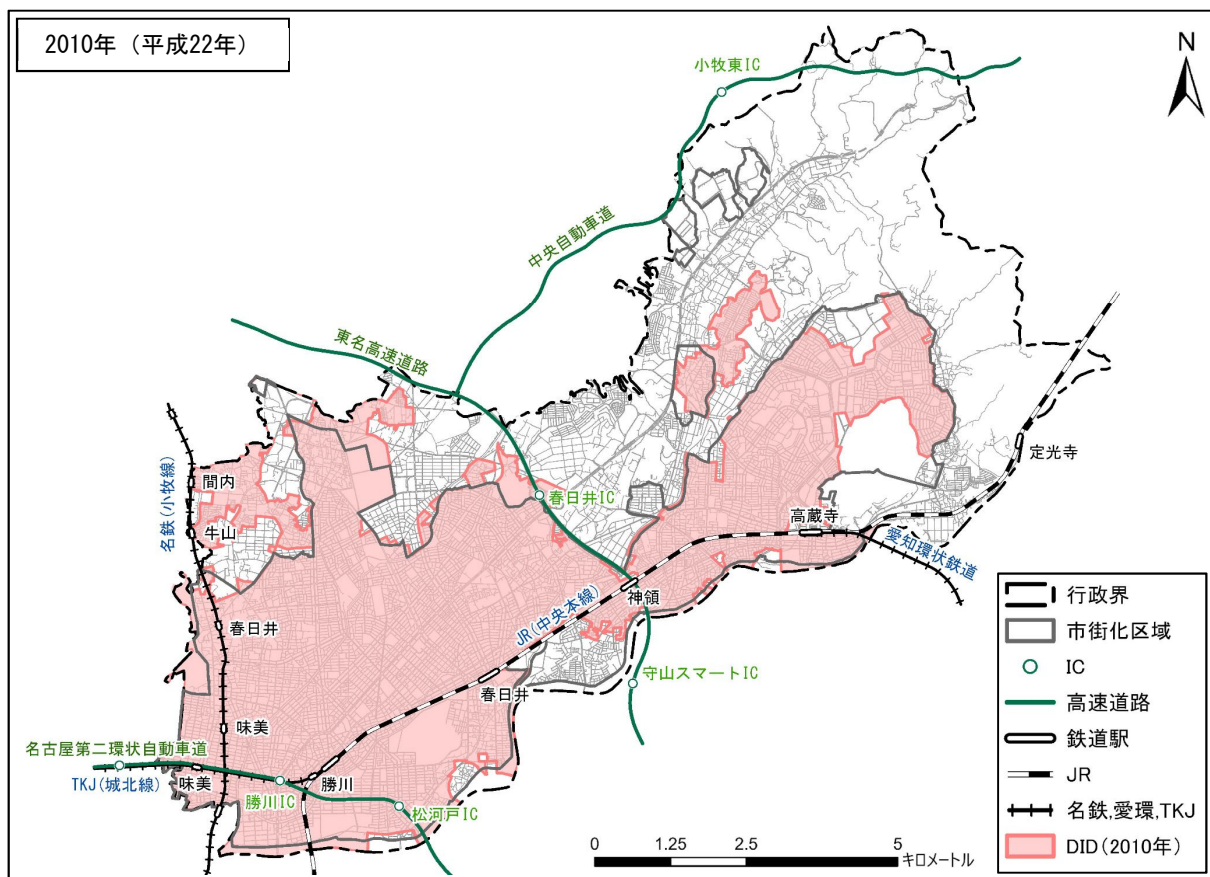
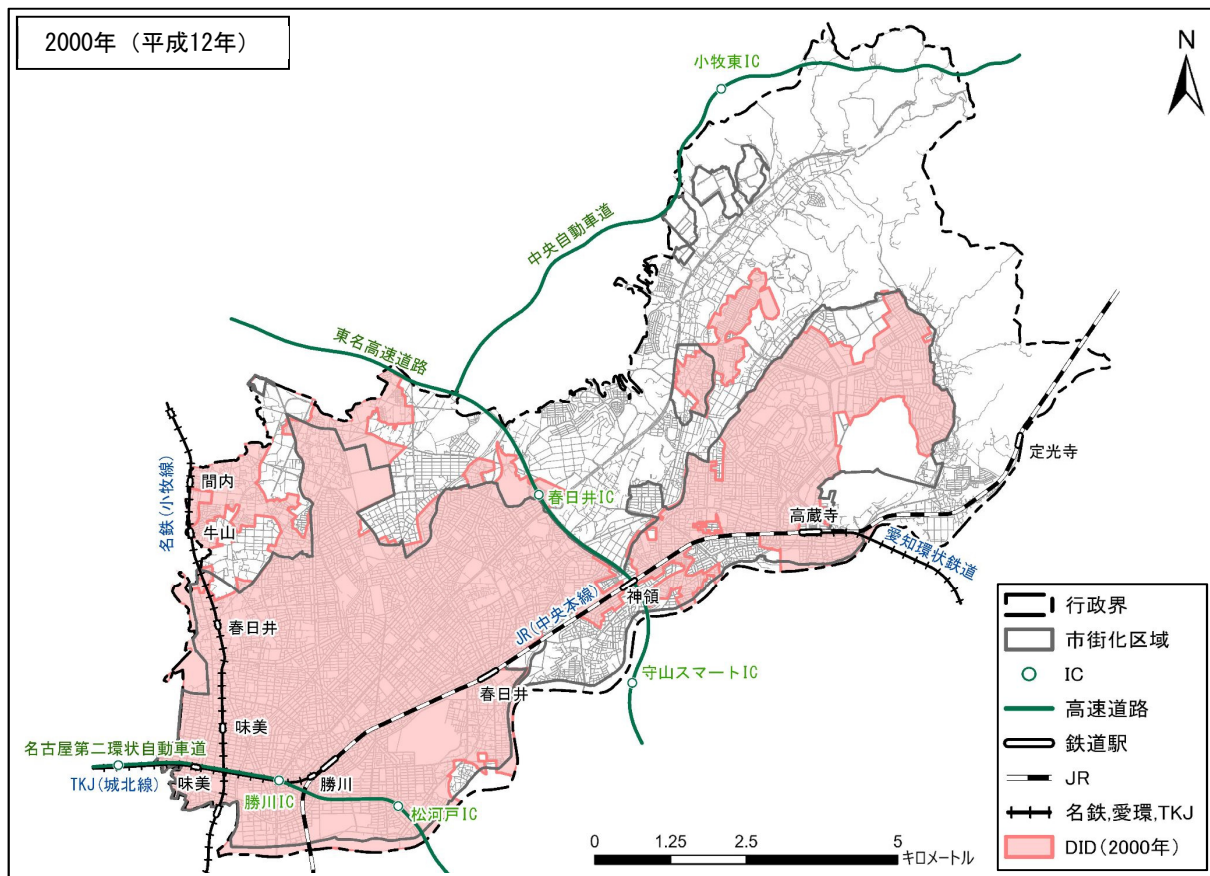
資料：国土数値情報

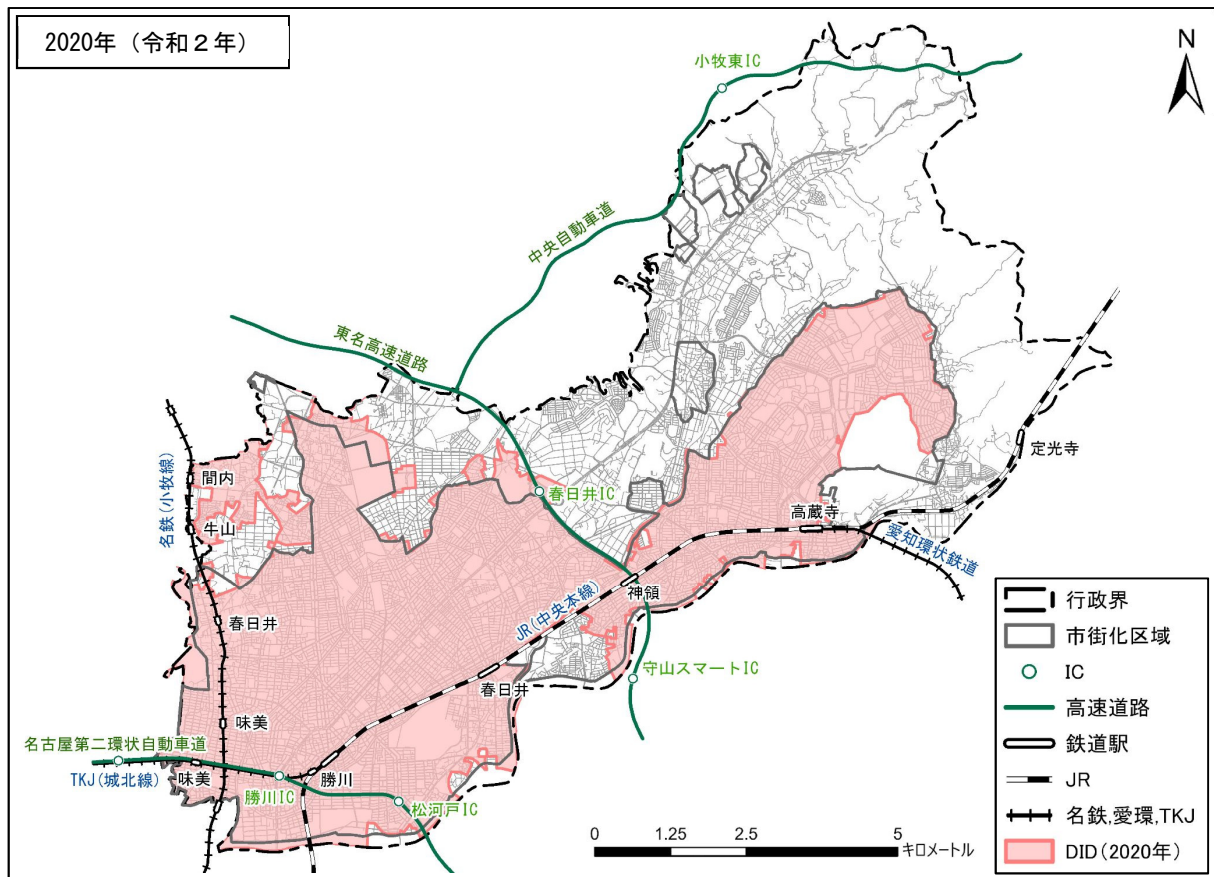


資料：国土数値情報



資料：国土数値情報





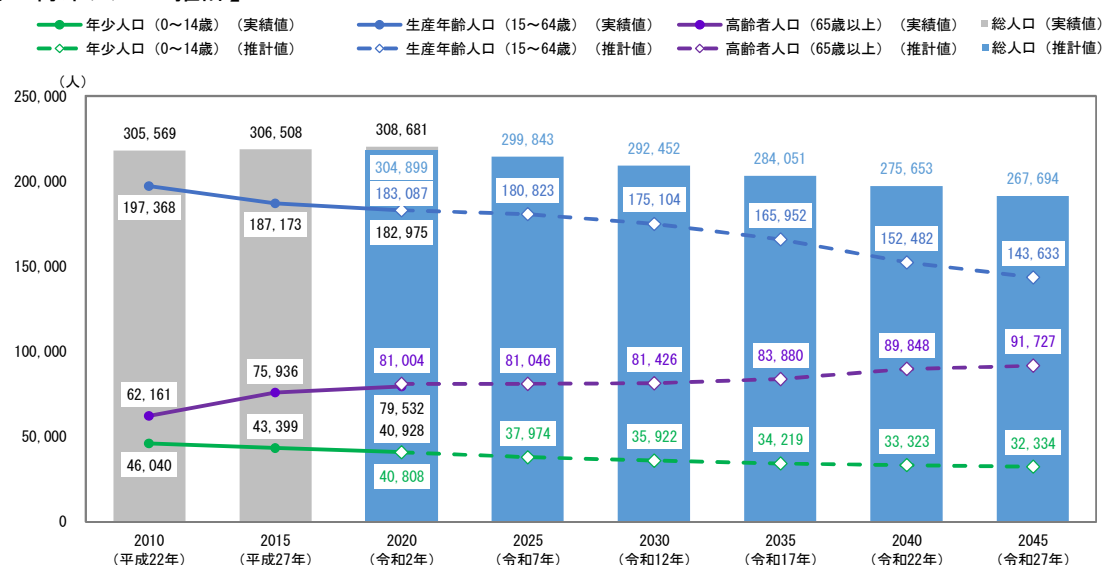
資料：2020年（令和2年）国勢調査

(6) 将来人口の推移

- ◆将来人口の推計については、2018年（平成30年）に国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）が公表した「日本の地域別将来推計人口」に基づき整理します。
- ◆将来推計人口では、2020年（令和2年）の春日井市の人口を304,899人と推計しており、2015年（平成27年）国勢調査から減少するとしていましたが、2020年（令和2年）国勢調査では308,681人となっており、社人研の推計に反して人口は増加しています。一方で、2040年（令和22年）の人口は275,653人と推計されており、今後、人口が減少すると考えられます。
- ◆2015年（平成27年）から2040年（令和22年）の年齢別の構成比について、年少人口（0～14歳）は14.2%から12.1%に減少する一方、高齢者人口（65歳以上）は24.8%から32.6%に増加し、少子高齢化の進行が見込まれます。
- ◆前期高齢者（65～74歳）は2030年（令和12年）まで減少した後、増加傾向を転じることが見込まれます。また、後期高齢者（75歳以上）は、2030年（令和12年）まで増加した後、概ね横ばいで推移すると見込まれます。
- ◆若年女性人口（20～39歳）※は、2010年（平成22年）以降減少しており、2015年（平成27年）時点で34,545人となっています。今後も減少し、2040年（令和22年）には28,749人になると見込まれます。

※ 若年女性…日本創成会議（東日本大震災からの復興を新しい国づくりの契機に位置づけ、2011年（平成23年）5月に発足した有識者らによる政策発信組織）では、子どもを出産する女性の9割強を占める20～39歳の女性を「若年女性」とし、若年女性が減少し続ける限り総人口も減少し続けるとしています。

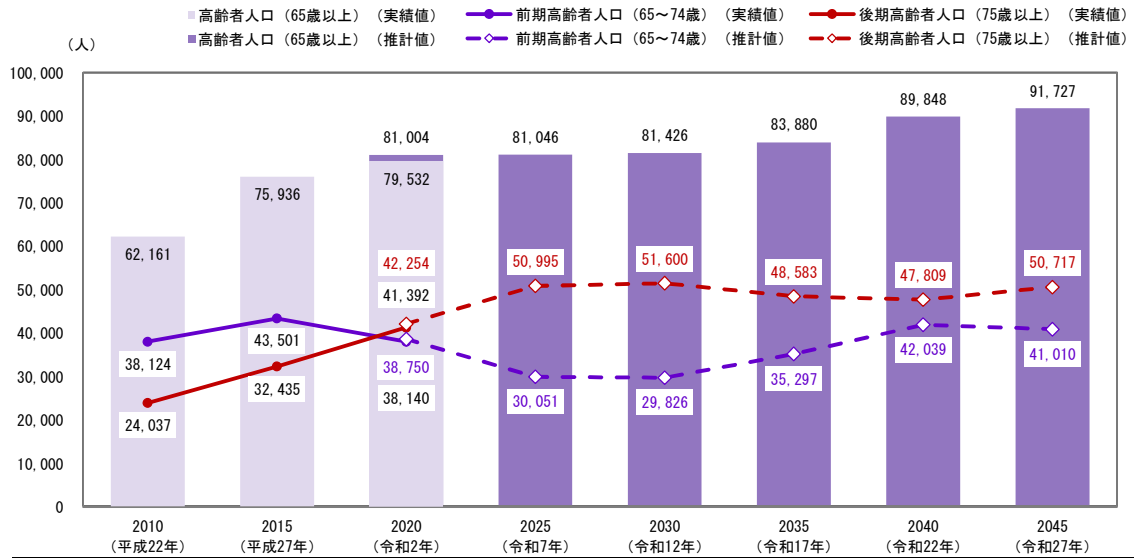
【図 将来人口の推計】



	2010	2015	2020		2025	2030	2035	2040	2045
			実績	推計					
総人口 (人)	305,569	306,508	308,681	304,899	299,843	292,452	284,051	275,653	267,694
年少人口 (0～14歳) (人)	46,040	43,399	40,928	40,808	37,974	35,922	34,219	33,323	32,334
構成比 (%)	15.1%	14.2%	13.3%	13.4%	12.7%	12.3%	12.0%	12.1%	12.1%
生産年齢人口 (15～64歳) (人)	197,368	187,173	182,975	183,087	180,823	175,104	165,952	152,482	143,633
構成比 (%)	64.6%	61.1%	59.3%	60.0%	60.3%	59.9%	58.4%	55.3%	53.7%
高齢者人口 (65歳以上) (人)	62,161	75,936	79,532	81,004	81,046	81,426	83,880	89,848	91,727
構成比 (%)	20.3%	24.8%	25.8%	26.6%	27.0%	27.8%	29.5%	32.6%	34.3%

資料：2020年（令和2年）国勢調査、社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

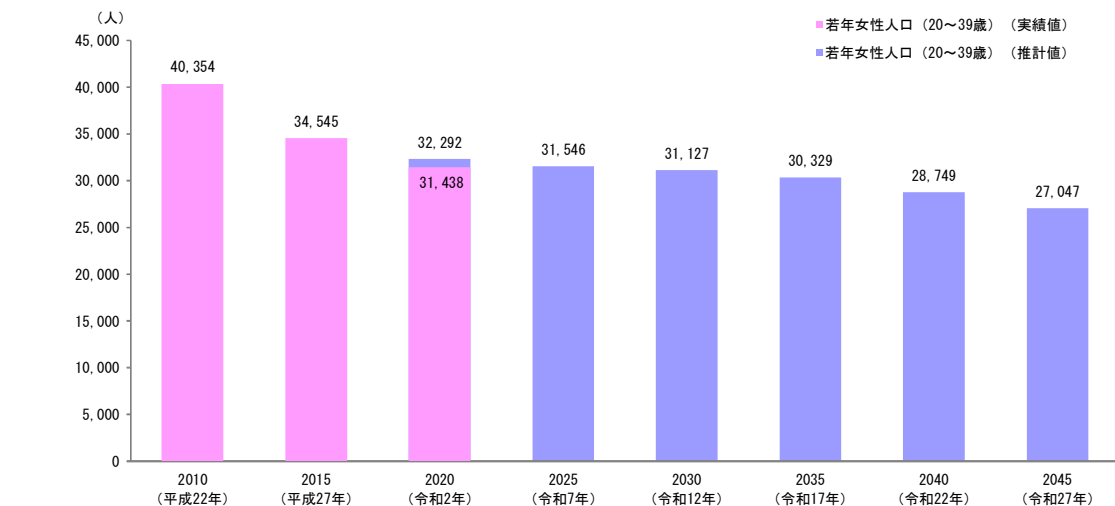
【図 将来人口（高齢者）の推計】



	2010	2015	2020		2025	2030	2035	2040	2045
			実績	推計					
総人口（人）	305,569	306,508	308,681	304,899	299,843	292,452	284,051	275,653	267,694
高齢者人口（65歳以上）（人）	62,161	75,936	79,532	81,004	81,046	81,426	83,880	89,848	91,727
構成比（％）	20.3%	24.8%	25.8%	26.6%	27.0%	27.8%	29.5%	32.6%	34.3%
前期高齢者人口（65～74歳）（人）	38,124	43,501	38,140	38,750	30,051	29,826	35,297	42,039	41,010
構成比（％）	12.5%	14.2%	12.4%	12.7%	10.0%	10.2%	12.4%	15.3%	15.3%
後期高齢者人口（75歳以上）（人）	24,037	32,435	41,392	42,254	50,995	51,600	48,583	47,809	50,717
構成比（％）	7.9%	10.6%	13.4%	13.9%	17.0%	17.6%	17.1%	17.3%	18.9%

資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）

【図 将来人口（若年女性）の推計】



	2010	2015	2020		2025	2030	2035	2040	2045
			実績	推計					
総人口（人）	305,569	306,508	308,681	304,899	299,843	292,452	284,051	275,653	267,694
若年女性人口（人）	40,354	34,545	31,438	32,292	31,546	31,127	30,329	28,749	27,047
構成比（％）	13.2%	11.3%	10.2%	10.6%	10.5%	10.6%	10.7%	10.4%	10.1%

資料：社人研 将来推計人口（2015年（平成27年）国勢調査に基づく）